

学生・教職員の皆さんへ

キャンパスに新入生や新しい教職員を迎え、新学期が始まりました。同時に、新型コロナウイルス感染症対策も一つの節目を迎えています。本学でも依然、感染者が報告されていますが、その影響は以前とはかなり違ったものになってきています。クラスターの発生が抑制され、かつ、重篤な症状を示す感染者は減少しているようです。このウイルスに対する研究と理解が進み、感染検査が身近な技術になったことに加え、ワクチン接種とマスク着用を含む基本的な対策がいきわたったことが効果をあげているものと考えられます。本学コミュニティの皆さんのこれまでの協力と尽力に感謝します。

一方で、全国的に見れば、現在収束しつつある第8波と呼ばれる感染者数のピークは決して小さいものであったとは言えず、また、死亡者数は過去最多を記録しています。このことは、年齢や健康状態など多様な構成員から成る私たちの社会には、新型コロナウイルス感染症がいまだ脅威となる方々も多数含まれていることを示しています。これまでの統一的な感染症対策や行動制限が緩和される中で、社会の多様な人たちに対する配慮が求められています。

約3年間、正体不明の新たなウイルス感染症として瞬く間に世界を圧倒した COVID-19 に対し、人類は決して屈することなく戦い続け、恐怖と不安の時は過ぎ去りつつあるように思えます。しかしながら、おそらく第8波が最後の波というわけではないでしょう。引き続き注意深く状況を見守り、自らと周囲の大切な人、そして私たちの社会を守るために最善と判断できる対策と行動を各人が心がけていきましょう。

令和5年4月1日  
奈良先端科学技術大学院大学長  
塩崎 一裕